



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

第3回司祭評議会を開催

司祭召命の育成・各種委員会の整備など検討

福岡教区司祭評議会が11月10日(火)に開催され、13人の評議員が参加し、来年度も引き続き「召命の育成」への取り組みを継続していくことを確認した。

司教館で開催された司祭評議会ではまず、2009年度の教区の優先課題として「召命の育成」が掲げられたが、召命部の1年間の取り組みで様々な良い芽も出てきていることを受け、2010年度もこの課題に継続して取り組んでいくことになった。

今後の取り組みについては、焦点の絞り込み、具体策の話し合いが行われた。

①司祭の育成(生涯教育)について、司祭相互の交わりをより深めるために、司祭としての悩みや恵みを話し合う場を作る。②信徒の育成について、信徒と司祭の意志の疎通を図る場を作る。若者の信仰

教育に力を入れること、また、これからの教会のために信徒のリーダー養成が急務であり、そのために司祭・信徒が協力して生き生きとした共同体作りを目指すことが話し合われ、その具体策を次回の評議会に持ち寄ることが確認された。

続いては教区役員(各種委員会)担当のあり方について話し合われた。各担当者間の意志の疎通を促進させること、担当司祭間の集まりを持つことなどが確認され、また各担当者が来年度の活動計画とその予算などを、来年1月中の司祭総会にて報告することになった。

待降節



待降節は、幼な子イエスさまの到来を準備する季節です。が、教会は厳密には「待降節」に二重の意味を持つ。それは、神の子の降誕の祭典のため、また同時に、その追憶を通して、終末におけるキリストの第2の来臨の期待へと心に向ける期間でもある。この2つの理由から、待降節は愛と喜びに包まれた待望の時であることが明らかになってくる(典礼暦年に関する一般原則39)。

ですから、私たちはキリストの2つの来臨を大きな希望を持って準備するときなのです。待降節中のミサの第1朗読は、ほとんどイザヤ書からとられますが、それはこの書がインマヌエルと名付けられた幼な子の誕生を預言し、メシアの預言が至るところに見られ、さらにイエスによって何度も引用されたからです。同時に、人間のあらゆる苦悩や不条理、矛盾にも関わらず、希望のメッセージを発し続けたイザヤに私たちも心を合わせるためでしょう。ですから、この期間、とくにイザヤ書を読み、その中に隠された愛と希望そして心の深いところのから出てくる喜びを体験しましょう。また、第3主日はその日の典礼に因んで「喜びの日曜日」と呼ばれ、典礼の色も待降節の色である紫ではなく、ばら色の祭服を用いることが出来ます。教会の典礼暦を大切に、この恵みの期間を過ごしましょう。

12月の意向

- 教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】子どもに対する尊敬
【宣教】世の光であるキリスト
【日本の教会】エイズ患者への奉仕

故ヨゼフ深堀敏司司教の福岡教区追悼祈念祭



「福岡教区追悼祈念祭」が、11月1日諸聖人の祝日にカトリック手取教会で行われた。ドミニコ宮原良治司教主式での追悼祈念ミサには深堀司教が司教叙階まで司牧していた帯山教会や引退後の5年間を過ごした手取教会の信徒、療養生を送ったシヨファイユの幼きイエズス修道会内坪井修道院のシスター、近隣の司祭方など200余人が参列した。追悼のミサの中で宮原司教は深堀司教が亡くなる3日前、付き添う兄弟に託した祈り「神様に捧げた生命ですから、勝手に執着しないで、神様から与えられた生命をすべて捧げることが出来ますように」にふれ、「あつぱれと申し上げたい。わたしは自己に執着するもの、どこまで離脱できるか、司祭の闘いでもありません。また「教区司祭、たつた者が、教皇様の任命を受け、知らない土地である別の教区の司教を受諾することは自己からの離脱、キリストに従う者の覚悟が必要だったろう」と労い、最後に「福岡教区の歴代の司教様方と天国で楽しい語らいをしていらつしやるでしょう。わたしも再会を望みながら祈りましょう」と結んだ。

カトリック学校の窓

ミッサの後、晩年を過ごした内坪井修道院長で聖心ホスピスで最期まで司教を支えてきたSr.泉キリ江は「本もののキリスト者の最後に立ちあわせていただいた気持ちです。」と追悼の辞をのべた。平田悠貴子さん(手取教会)はこの手取教会が改修されたきれいなことを喜んでいらつしやいました。ある夕方、日課の散歩で聖堂の周囲を歩きながら白く浮き上がった十字架を見上げ、茶目つぎのある目をクルクルさせながら「神の栄光ここにありだね」とおつしやいました。いつも、些細なこと、わずかなことにも神様の光をあてて話してくださる方でした。いつも笑顔で優しい方という印象です。福岡教区報森山信三編集長は福岡教区報の昭和30年の創刊号から昭和52年249号まで初代の編集長を勤められており、いまも特に創立や献堂記念など歴史を振り返るたびに、その克明な編集に驚かされ、また参考資料として貴重な材料になっています。

降節は、生徒や教職員にとつて大変楽しみなもので、朝礼の聖歌が変わり、クリスマス用の朗読があり、校内の各所に「幼子イエス」の誕生を待つ心が準備されます。赤や緑、金や銀、といったクリスマスカラーを目にし、心をうきうきさせて本日のクリスマスを理解していきます。白百合学園のエントランスには広いスペースがあり、福音書の主な場面がステンドグラスで表現されています。大天使ガブリエルのお告げ、マリアのエリザベツト訪問、ご降誕と3人の博士、十字架の上のイエス、悲嘆にくれるマリアと弟子たち、空の墓、エマオの旅人、聖霊降臨が何とも柔らかい色調で優しく描かれております。登校すると最初に目にする福音書、これが卒業まで毎日刻まれていくことに意味があるのです。そのステンドグラスの制作者が、先日私に「未完成のイエス」の像をくださいました。『ほほ笑んで眠っている幼子は、私の両手のひらで温かく包みこむと作品が完成する』というものです。未完成の意味もわかり、これがクリスマスメッセーじだと感激しました。自分の手にとつてこのほほ笑みを見るだけで、心が洗われます。憎しみや、妬み、悪意といった言葉とは無縁の純粋で無垢なほほ笑みは、美しい心を取り戻すのに時間はかかりません。温かい心の通う人間としてこの世にお生まれになった方を、多くの人に知らせたいと思います。

八代白百合学園高等学校 シスター・谷口 貞女

連帯とネットワーク作りを目指して

教区広報委員会の呼びかけで、11月8日(日)午後2時から、カトリック大名町教会において、広報担当者の集いが開かれた。福岡・北九州及び佐賀・熊本地区の各小教区の広報担当者32人が、それぞれの小教区報を持ち寄り広報活動の現状を報告した。小教区報は週報、月報、年報、定期発行と様々な形式で発行されているが、休刊中の小教区もある。メンバーは15人。孤軍奮闘の小教区もあるが、原稿は各教会から上がってくるという力強い小教区もある。リレー方式で信徒以外の人も含めて「平和への手記」を連載している小教区、ヤル気のある子育て中の人たちが編集している小教



く包みこむと作品が完成する」というものです。未完成の意味もわかり、これがクリスマスメッセーじだと感激しました。自分の手にとつてこのほほ笑みを見るだけで、心が洗われます。憎しみや、妬み、悪意といった言葉とは無縁の純粋で無垢なほほ笑みは、美しい心を取り戻すのに時間はかかりません。温かい心の通う人間としてこの世にお生まれになった方を、多くの人に知らせたいと思います。

手取教会に協働司祭ポーランドからアルビン神父



1955年3月4日生れのポーランドの教区司祭。手取教会(牧山勝美主任司祭)で協働司祭として司牧する。

おぼろげ

博多の禅僧で仙厓という人がいる。ユーモアに溢れた禅画を数多く残している。例えば蛙が座っている絵を描いてその横に「座禅して人が佛になるならハ」と書く。ユーモアがあるばかりでなく、風刺や鋭い警句とも言える。ユーモアは、もともとラテン語のフモールすなわち体液という言葉から来たそうである。であれば、人間が生きていく上で、ユーモアはなくてはならないものということになる。余裕やゆとりのないところ、ギスギスした日々の中にユーモアは生まれにくい。また、ユーモアは人を楽しくさせ、雰囲気や和ませ、会話をスムーズにさせるという意味で、自分のためと言うよりは、他者を気遣う隣人愛の行為とも言えるかもしれない。ユーモアなど無用である、生きて行く上で絶対的なのではないかと考える人もあろう。しかし、私たちは考えてみると、無駄なこと、無用なことに結構時間を使っているのではないか。のみならず、無用だと考えられていることをして、かえって自分のバランスを取っているということもあるのではないか。私たちが、効率性や有用性、生産性そんなものばかりを追及して来たけれども、ふと立ち止まって、ポーツとする、無為な時を過ごす、そんな時間の中にひらめきや新しい価値は見られない。なぜ? それにどんな意味があるか、そのことは有用かなどと問われなくても答え難い。私はこの受肉の神秘の中に神のユーモアが含まれているのではないかと人思っているのである。M

いま、カトリック学校は

福岡市内にある3つのミッションスクールの校長先生方に集まっていたとき、ミッションスクールとしての教育方針や教会との関わりなどについて話してもらった。男子校でイエズス会経営の泰星学園から水谷繁夫校長、女子校でイエズス会を設立母体とする福岡雙葉学園の大林興一校長、女子校でマリアの宣教師フランシスコ修道会が経営する福岡海星女子学院高等学校の山田耕司校長の3人に福岡教区報編集長の森山信三神父が話を伺った。



最初に、教育方針も含めて学校の紹介を

大林(雙葉)

本校は、昨年創立75周年を機に、「global citizen」をキーワードとして「神の恵みに感謝し、地球社会の一員として自覚して生きる人を育てる」を教育目標に定め、心の教育、品位の教育を打ち出しました。



大林興一校長

ある会合で「雙葉はまだ宗教だけでいくんですか」と言われたことがあります。しっかりとした学力をつけて社会に通用するだけでなく、貢献できる女性を育てることは

対する聖書講座なども充実しています。

山田(海星)

本校は、50年前に当時の深堀仙右衛門司教長の熱望によつて生まれた学校です。

私どもの修道会はフランシスコ会系の修道会で、明治31年より熊本でハンセン病の患者さんのために尽力しておりました。ですから、学校自体は、教育啓蒙を専門とする会と若干方向が異なり、スタート時点から進学校というスタンスだけではなく、幅の広い生徒層から通学しやすい環境をつくるという点を大切にしてきました。

子どもたちが自身がキャンパス生活の中で神と出会うためにどのような環境をつくられるか、その意味で大きな自然の中に手のひらサイズの学園をという理念で高校は学年3クラス、小学校は1クラスという規模を守り続けています。私は、全校児童生徒400余人、子どもたちの顔も名前もすべて一致します。

また、子どもたちは私に気軽にキャンパス内で声をかけてくれますが、そのような子の中には課題をもっている子どももいます。そこで、小学校の宗教の時間は、担任とシスターがいつしよに授業をすることによって、日常生活と宗教とがつながるようにしています。また、高校では、困難な家庭環境を抱えている生徒もいます。私自身もすべての生徒についてのカルテを持っており、生徒たちと一緒に歩いて行きます。先生たちの組織的努力により、例えば入学当初20人の不登校の子がいたとすれば、卒業の時は10人は大学に行くようになります。

このように課題を抱えている子ども、経済的な事情で教育を受けることが難しい子どもたちにもその機会を与えることが本校の建学の精神だと考えています。

今、特に力を入れて取り組んでいることと学校の特色などについて

水谷(泰星)

神様の眼差しから離れてしまわないこと、そのような教育をすることが大切だと考えています。少子化になって学校経営は非常に大変な時代です。勿論、学園としては、レベルの高い子どもを望むわけですが、そのためには何でもいいと言わなければならないと思います。基準はいつも神様の目線にあります。



水谷繁夫校長

また、イエズス会はいま東南アジアに目を向けています。当校もアジアに向けた取り組みを始めています。

大林(雙葉)

当校が、伝統として大切にしてきたものを単に残すという発想ではなく、むしろ強化するという考え方が必要だと思っています。例えば、当校は50年来、シスターを中心として、生活面でも厳しい躰がなされてきました。しかし、シスターも少なくなくなり、高齢化する中で、人間として大切な面が疎かになることなく、今まで以上に重要視される教育の育成が大切だと思えます。この学校に預ければ間違いないという保護者の信頼を裏切らないためにも、変えてはならないものをむしろ強化することが大切だと思っています。

山田(海星)

高校の各学年一クラスは留学コースですが、オーストラリアやカナダに留学し、そこで単位を取れるというシステムをとっています。

今最も直面しておられる課題は何ですか。

今の時代は、文化と文化の交流、融合を通して新しい文化が生れるそんな時代だと思います。国として相手を見るというより、人対人との文化を認め合えるようなそんな教育を考えています。子どもたち将来行っていく国は、欧米ではなくアジア。東アジアで何が出来るか、そんな意味でもNPO団体やその他の公的機関との連携も大切にしていきたいです。

今最も直面しておられる課題は何ですか。

大林(雙葉)

やはりまず少子化による生徒募集の問題です。近県に新設校の計画などもあり、今の生徒数を維持出来るかどうか危機感を持ちます。入学して来た子どもにとにかく最大限のことをし、実績を積み上げることだと思っています。

水谷(泰星)

教師として、神から任せられた子として、どんな子にも寄り添い、いつもベストを尽くして関わってあげたいと思っています。福岡は公立が強い地域ですから、私立に良い生徒を集めることには苦労します。イエズス会の教育のねらいは、宗教に基づき、社会におけるリーダーとなり得る優秀な人材の育成にありますから、そこをどのように達成するかに苦労します。

山田(海星)

4つあります。第1に生徒募集、第2に将来は修道会が去っていくか、3つ目は卒業した子どもについてです。すなわち、卒業後にどんな人生を歩んでいるか、人生において困ったときに私どもに出来ることはどんなことか、4点目は教師力をつけるためにはどうしたら

いいか、という点です。公立の場合は研修制度があると思いますが、私学には確立したものがありませんから、それを学院内で確立することの難しさを感じます。



山田耕司校長

カトリック学校と教会の関係について、その連携、教会に対する要望など

水谷(泰星)

教師のための宗教の研修は、教区全体合同でやったらどうかという提案をしています。イエズス会の司祭がせっかくおられるので、この方々に協力いただいたり、あるいは教区内の司祭や、神学校の司祭にも協力願えばわざわざ東京からお呼びする必要もなくなります。各学校の建学の精神は異なっても同じカトリックの姉妹校と言う考え方で、互いに研究し、共有できるのではないのでしょうか。

また、カトリックの子弟や、外国籍の子どもたちにもカトリック学校に通うことは出来ないだろうか。そのためには例えば教会で奨学金の制度など整備されれば、それも可能になるのではないのでしょうか。

大林(雙葉)

教会とタイアップした教員のための養成塾を望みます。小教区とカトリック学校の連携がもう少し明確になればいいと思います。

山田(海星)

教会の子どもたちが学校を選ぶときにどんな視点で選んでいるでしょうか。自分の将来の生活を安定させるためにどんな道を進むべきかという視点は持っていると思います。例えば学校として名前が通っているとか、進学率や就職率が高いとか、そのような世間的な視点だけで選ぶのではなく、どこに入学すれば、教会が教えている福音の精神で人生を歩めるか、そんな観点からも学校選びをするよう、保護者や神父様方をお願いしたいと思っています。公立では、心の教育といわれませんが、道徳教育だけでは出来ませんと言っているのです。私学の使命はそこにあると思います。カトリックの学校説明会に子どもとともに積極的に参加されて、まずは聴いてほしいと思います。

大林(雙葉)

私の兄弟は全員カトリック学校に通いました。それは、親が自分が信徒である以上、絶対に自分の子どもはカトリックの学校に入りたいという信念があったからです。

お子様に一本筋の通った生き方を歩ませるためにも、まず保護者の皆様がかトリック校に子どもを入れようという強い信念を持ってほしいと思います。敬称を略させて頂きました。

教会の子どもたちが学校を選ぶときにどんな視点で選んでいるでしょうか。自分の将来の生活を安定させるためにどんな道を進むべきかという視点は持っていると思います。例えば学校として名前が通っているとか、進学率や就職率が高いとか、そのような世間的な視点だけで選ぶのではなく、どこに入学すれば、教会が教えている福音の精神で人生を歩めるか、そんな観点からも学校選びをするよう、保護者や神父様方をお願いしたいと思っています。公立では、心の教育といわれませんが、道徳教育だけでは出来ませんと言っているのです。私学の使命はそこにあると思います。カトリックの学校説明会に子どもとともに積極的に参加されて、まずは聴いてほしいと思います。

大林(雙葉)

宗教がバックボーンにある学校は、やはり強いと思います。毎日祈りから始まり、祈りによって終わる生活を3年、6年続けるわけですから、公立では実質的に等しい心の教育はカトリック校ならではだと思っています。

それは大学に入るためのだけの生き方ではなく、常に生涯の生き方を視野に入れていくのですから。

水谷(泰星)

私の兄弟は全員カトリック学校に通いました。それは、親が自分が信徒である以上、絶対に自分の子どもはカトリックの学校に入りたいという信念があったからです。

お子様に一本筋の通った生き方を歩ませるためにも、まず保護者の皆様がかトリック校に子どもを入れようという強い信念を持ってほしいと思います。敬称を略させて頂きました。

大林(雙葉)

宗教がバックボーンにある学校は、やはり強いと思います。毎日祈りから始まり、祈りによって終わる生活を3年、6年続けるわけですから、公立では実質的に等しい心の教育はカトリック校ならではだと思っています。

それは大学に入るためのだけの生き方ではなく、常に生涯の生き方を視野に入れていくのですから。

水谷(泰星)

私の兄弟は全員カトリック学校に通いました。それは、親が自分が信徒である以上、絶対に自分の子どもはカトリックの学校に入りたいという信念があったからです。

お子様に一本筋の通った生き方を歩ませるためにも、まず保護者の皆様がかトリック校に子どもを入れようという強い信念を持ってほしいと思います。敬称を略させて頂きました。

2009『待降節の黙想会』ご案内

- ①12月5日(土) 16:30開始～6日(日) 15:00迄 《来住神父指導》
- ②12月9日(水) 10:00開始～15:00迄 《来住神父指導》
- ③12月12日(土) 16:30開始～13日(日) 15:00迄 《染野神父指導》
- ④12月16日(水) 16:30開始～17日(木) 15:00迄 《来住神父指導》
- ⑤12月19日(土) 16:30開始～20日(日) 15:00迄 《来住神父指導》

■会費：①③④⑤ 7500円(一泊三食代)・②1500円(昼食代、他)

カトリック福岡黙想の家
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ワイン デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 **大楠酒店**
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

司祭シリーズ ⑧

「召命のよろこび」



牧山美好神父

よるこんだ顔は明るい。よるこんでいる人の声は弾んでいる。よるこびはその人を豊かにし、気づかぬうちにまわりの人を幸せにする。よるこびとは、そういうものだ。

間柄を生きたる者であるわたしたちが互いに喜びを伝え合えたら、きっと世界はちがったものになるだろう。父と子と聖霊の愛の交わり、満ちあふれるよるこびにあずかるように、わたしたちはこの神に似せてつくられた。わたしたちは愛を生きたる者に召されている。神のよるこびを心に受けて、みずからもよるこびの灯を燃やすことができる。

司祭は、関わりの中でよるこびを伝え、愛を生きたる者とされた人間の召命に仕えながら生きていく。自分もよるこびで誰かを照らしながら、また照らされるながら、人と人



教会共同体を考へる イザヤ 来住 英俊

黒板に書く (8)

教会共同体を考へるのに、「会議」の話に深入りすることを奇異に思う人もあるかもしれない。しかし、共同体の

活力は、決めるべきときに勇気を持って物事を決めることができるかにもかかっている。このままではやっていけないことが薄々分かっていながら現状維持を続ける共同体は、暖かい優しい言葉が交わされていても、本当の意味で活気のあるものにならないだろう。そして、会議の結論はともかく、手続きは皆が納得できるものでなければならぬ。青年が教会に集まるかどうかもこれと関係があるように思う。

教会に限らず、会議の席上でよく見られる光景は、相手に石つぶてを投げつけるように発言する人である。公の場で発言するのは気力を要する

ので、つい強い語調になるという事情もあろう。しかし、こういう発言が飛び交うと一見活気があるように見えるかもしれないが、おとなしい人が発言しにくい雰囲気を作ってしまう。団塊の世代の人は要注意である。コツは、自分の意見を当面の相手に投げつけるのではなく、真ん中にあるテーブルの上にそっと乗せる。それを「皆と一緒に眺める」というイメージである。それを現実化するために、ちよっとしたことでも出た意見を黒板に書くようにすることは有益である。意見を発言者から独立して考えやすいからである。強く響きがちな「司祭の見解」

を相対化するためにもよい。なお、議題もプリントを参加者に配布するだけでなく、前の黒板に書き出した方がよい。私は修道会のために会議術をいろいろと研究してきたが、なかなか本の通りに行かないものではない。しかし、今すぐ取り入れることのできるアイデアもいろいろ提示されている。心ある信者は会議術を研究すべきである。板書に関する「フアシリテーション・グラフィック」(日本経済出版社)という面白い本がある。帯には「議論を描けば会議が変る!」とある。御受難修道会 宗像修道院長

との間を、そして人と神との間を旅していく。よるこびによって、人が輝く様子を目の当たりにしながら、特に苦しむ人がよるこびをたやまず、感謝のうちに過ごしている様を見たとき、その偉大さに驚かされる。よるこびは、苦しみによってかき消されず、むしろ、苦しみを乗り越えさせる力の源となつていくからだ。弱く貧しい人間でありつづけるが、その小ささゆえに、神がご自分の道具として選び、この世界に遣わそうとしてくださる。司祭。自らも心を持って、神の心のなかを、そして人々の間を歩んでいく。神のよるこびがごだまされる方に向かって。神の恵みが、誰かに触れ、その心をよるこびで満たしていく神秘の出来事を、すぐ傍らで見つめる司祭。司祭の召命は、ほんとうにありがたい、神の招きであると感じる。



召命の集いに1110人

11月3日、恒例の「召命の集い」が、日本カトリック神学院福岡キャンパスとなつて第1回目「ふみ出そう」はじめての「歩くイエスさまが呼んでるよ」をテーマに行われた。インフルエンザの影響などで出席は少なかつたが、青空の下でミサ、神学生の劇、館内では作品展が行われた。因みに、今年の院長賞は行橋教会・豊津教会。

「きかんね、みらんね、しゃべらんね」 10月26日から28日までの3日間カテドラル大名町教会で日本カトリック難民移住移動者委員会全国研修会が開催された。九州各地から1000人あまりが参加した。

て、司教団が行った日雇労働者が多い大阪の西成区での体験学習から「この時代だからこそ十戒を読み直す必要がある」と思い、話をさせていた。断つて、「現代の労働者、特に移住労働者は出エジプトでのイスラエルの人々と同じ状況にあると思う。」と語り、「モーセの十戒は民を解放するためのビジョン。イエスはこの十戒を完成させた」と聖書の言葉に触れながら、いま教会が小さくされている人々へ向かうべき心を示唆した。

11月15日(日)午後2時からカテドラル大名町教会で福岡クリアの60周年記念ミサが宮原司教主式で6人の司祭、100余人の信徒が参加して行われた。

宮原良治司教は、説教の中でレジオ活動の拠り所であるマリヤさまの心の積極的な強さについても説かれた。ミサ後の祝賀会では日本のレジオの総本部である大阪セナートの指導司祭川川信雄神父が、伝統的カトリック信仰の真髄が生きている筈のレ

次に、NGO九州ネットワークの井上幸雄氏が、外国人移住労働者への支援活動と、そのこともたちの現状について報告し、日本国憲法の問題、特に前文に照らして物事に対応していくことの大切さを指摘した。

最後に宮原司教主式のミサが行われ、3日にわたる研修会が感謝のうちに終了した。

レジオ・マリエ福岡クリア創立60周年を祝う ジオは古くは役立たないのか、今日の傾向として刷新の名のもとに古いものの中にある本質的なものまで捨ててしまふ危険性には心すすべきであると鋭く指摘された。 続いてレジオの九州本部の長崎レジオの指導司祭M・ヒルデン神父は聖母マリアの心を心として働くレジオの活動を述べられ聖母マリアへの信心を強調された。 この後、福岡クリアの初代会長森山敬三氏の乾杯の音頭で祝賀の宴が始まり、大阪セナート、長崎レジオ、熊本クリア、北九州クリアの各会長から温かい声援のことがあった。



福岡教区のレジオ・マリエは現在、福岡クリアのもとに高宮・光丘・笹丘・佐賀・鳥栖が、北九州クリアは黒崎・門司、熊本クリアに手取・島崎・健軍・人吉の各プレジデントが属して活動している。福岡クリア創立60周年の機会に会員一同福音宣教のため一層の努力を重ねて働く決意を新たにしたい一日であった。

BOOK 読め専科 ☆クリスマスに贈る 100の言葉 ハルトル 里野泰昭 編

不動産全般・売買・賃貸・管理 存んでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 R.C工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 森山工務店

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA キリスト教書籍・信用品・ビデオ・DVD・CD

み国が来ますように！

カトリック教会のカテキズム

日時：2010年1月24日(日) 15:00
 場所：カトリック大名町教会
 講師：櫻井尚明神父(大名町教会主任)
 資料：カトリック教会のカテキズム

2009年度北九州地区聖書講座

メインテーマ：いただきます
 ～神のことばを食べる～

日時：2010年1月24日(日) 14時から
 場所：カトリック小倉教会
 講師：L. ベリオ神父(パリ外国宣教会)
 参加費：無料
 主催：北九州地区信徒協・聖書部会

2010年福岡地区聖書講座

日時：2010年1月17日(日) 14:00～16:00
 場所：カトリック大名町教会
 講師：森山 信三神父(西新教会)
 参加費：500円 旧新約聖書をご持参下さい。
 主催：福岡地区信徒協・聖書部会

第62回福岡市民クリスマス

Christmas to ALL! Christmas Concert Live

日時：12月7日(月)
 18時 開場 / 18時30分 開演
 場所：福岡市民会館大ホール(福岡市天神5)
 入場料：無料
 メッセージ：「Holy Christmas とは？」
 陣内大蔵 牧師(日本基督教団東美教会)
 主催：福岡市民クリスマス実行委員会
 ☎092-871-2505(事務局)

ザビエル聖堂の再生を願って！

◆日時：2010年1月23日(土)
 13:00～17:00
 ◆場所：福岡黙想の家2階会議室
 ◆指導：新垣壬敏氏
 ◆曲目：ザビエル賛歌
 フランシスコ・ザビエル ミサ曲など
 ◆会費：2000円
 ◆問合せ先：聖歌隊(ザビエル合唱団)
 0940-33-5423 橋本富美
 *毎月第3土曜日13時から練習しています。

2010年キリスト教一致祈禱週間

1月18日(月)～1月25日(月)

テーマ
 あなたがたはこれらのことの証人となる
 (ルカ24:48)
 祈禱会

日時：2010年1月24日(火) 19:00
 場所：カトリック大名町教会
 *どなたでも参加できます。大勢の参加を期待します。

福岡教区広報室アドレス
 E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

先月号一面の司祭黙想会の記事の中で、司祭黙想会指導司祭の名前が「中山博道神父」となっていました。正しくは「中川博道神父」の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。また、今月号は、福岡市内のカトリック学校の校長先生をお招きして、座談会形式で、お話しを伺いました。カトリックの学校と教会がもっと連携し、その結びつきを深める必要性を実感いたしました。また、「カトリック学校の窓」では、3回にわたってシスター谷口貞女に寄稿していただきましたことをご報告いたします。皆様、どうぞよき主の降誕と新年をお迎え下さい。

福岡黙想の家ご案内 12月

◇2日(水) 宗像市民クリスマス・合同祈禱会
 ◇5日(土)～6日(日) 待降節の黙想会①(来住神父指導)
 ◇9日(水) 待降節日帰り黙想会②
 ◇12日(土)～13日(日) 待降節の黙想会③(染野神父指導)
 ◇16日(水)～17日(木) 待降節の黙想会④(来住神父指導)
 ◇19日(土) 福岡チェナクルム
 ◇19日(土)～20日(日) 待降節の黙想会⑤(来住神父指導)
 ◇26日(土)～1/4日(月) 長崎純心聖母会黙想
 *待降節・1年の締め括りを静かに宗像黙想の家で！
 *1月5日(火)～9日(土) 休館です。
 〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
 ☎0940・32・3222 ㊟32・3385
 http://www1.biz.biglobe.ne.jp/fmokusou/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
 年間テーマ：聖パウロについて/レクツィオディヴィーナ
 ・日時：12月10日(木) 10時～15時半
 ・内容：聖パウロの殉教
 指導：フランコ・ソットコロラ神父(真命山院長)
 ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
 園田善昭神父/Sr. マリアデ・ジョルジ
 問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
 ☎0968・85・3100 ㊟0968・85・3186・玉名郡和水町蛸浦
 1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：12月19日、1月16日 第1・第3土曜日 10時～12時
 場所：カトリック大名町教会小聖堂
 *基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

◆福岡祈りの会
 (日時) 毎週月曜11時から12時30分(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい(代表) Br 床嶋(問合せ) ☎092・521・2503 蓮尾

◆福岡召命を共に祈る会
 (日時) 12月17日(木) 14時30分から(場所) 福岡召命の家(内容) ロザリオの祈り・クリスマス会をします。出席される方は1000円相当のプレゼントを準備してください。(問合せ先) ☎092・921・4532 山口紀子*一緒に召命のために祈りませんか？

◆在セフランシスコ会集會
 (日時) 12月20日(日) 14時から(場所) 高宮フランシスコ修道院在会集會所(内容) アシジの聖フランシスコに就いて、福音に生きるために。ミサと学習(指導) 戸村悦夫神父(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎

◆青年黙想会
 (日時) 12月19日(土) 20時から20日(日) 16時(場所) カノッサ修道女会太牟田修道院(テーマ) 近づくのは、神(同伴) Sr.大田(参加費) 1500円(昼食持参)(問合せ・申

◆虹の会
 (日時) 1月23日(土) 13時半から16時半(場所) カトリック大名町教会3階(内容) 子どもを亡くした親の悲嘆の分かち合い(参加費) 600円(連絡先) ☎090・1162・6395 柴田須磨子

◆美野島司牧センター
 ホームレス支援のための毎週火曜日10時半から炊き出し等への協力をお願いします。(問合せ先) ☎092・431・1419 M・コース神父

◆熊本
 (日時) 12月17日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(内容) ロザリオと話し合い(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父

◆熊本結婚準備講座
 (日時) 12月17日(木) 10時～12時(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(次回) 1月16日(土) 毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆佐賀
 (日時) 1月10日(日) 14時半(場所) イエズスの聖心病院(問合せ先) Sr ☎096・352・7181 竹内

◆北九州召命を共に祈る会
 (日時) 1月14日(木) 14時から17時(場所) カトリック小倉教会聖堂(内容) 新年のごミサ、ミーティング(司式・指導) 伊東成晃神父(門司教会主任)(問合せ先) ☎093・963・2359 江口

*12月は休会します。

◆佐賀祈りの集い
 (日時) 12月5日(土) 10時～12時(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(次回) 1月16日(土) 毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本
 (日時) 1月22日(金) 13時半から15時(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難修道会)(内容) 「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り(連絡先) ☎090・3985・5209 松田裕子

◆熊本
 (日時) 1月23日(土) から2月20日(土) 19時から21時半 毎週土曜日の全5回(場所) カトリック手取教会(参加費) カップルで一万円(問合せ先) ☎096・352・3030 渥096・352・1515

◆カトリック看護協会福岡支部の集まり
 (日時) 1月10日(日) 14時半(場所) イエズスの聖心病院(問合せ先) Sr ☎096・352・7181 竹内

修道会の名称変更のお知らせ

宮崎カリタス修道会は2009年10月に第13回総会を開催し、会のカリスマを適切に表す修道会の名称を検討し、11月4日付けでローマ聖座より正式名称の変更を認可されましたのでここにお知らせいたします。
 新名称：「イエスのカリタス修道女会」
 (Suore della Carita di Gesu)
 日本管区管区長 橋口暁子

編集後記

先月号一面の司祭黙想会の記事の中で、司祭黙想会指導司祭の名前が「中山博道神父」となっていました。正しくは「中川博道神父」の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。また、今月号は、福岡市内のカトリック学校の校長先生をお招きして、座談会形式で、お話しを伺いました。カトリックの学校と教会がもっと連携し、その結びつきを深める必要性を実感いたしました。また、「カトリック学校の窓」では、3回にわたってシスター谷口貞女に寄稿していただきましたことをご報告いたします。皆様、どうぞよき主の降誕と新年をお迎え下さい。

COSMOS
 スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**
 〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
 TEL 0942-77-3199
 代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
 総合周産期医療センター
 がん診療連携拠点病院
 地域医療支援病院
 救急救急センター
 地域災害拠点病院
 *入院基本料(一般病棟7:1)
 〒830-8543
 福岡県久留米市津福本町422
 TEL0942-35-3322(代表)
 FAX0942-34-3115
 http://www.st-mary-med.or.jp

天然素材の健康住宅
ナガシマ建築工房
 大地・海・山の恵みを取り入れ優れた素材をそのままディスプレイした住まいづくり
 社長 ヨゼフ 長島哲夫
 福岡市早良区飯倉8-10-17 TEL:092-871-0063
 ナガシマ建築工房 福岡 検索

サンパウロ福岡宣教センター
 (キリスト教書籍・信心用品専門店)
 幼子イエスさま、来て下さい!!
 [クリスマスカード・絵本・10手帳・カレンダー等 特設コーナー有]
 1階 聖書・信心書・聖人伝・キリスト関係・絵本・一般書等
 2階 家庭祭壇・十字架・CD・DVD等
 営業 = 平日・土曜日 10:00~18:00 *待降節日曜日 11:00~15:00
 定休日 = 日曜日・祭日 *駐車場完備 *地下鉄赤坂駅より徒歩3分
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 tel:092-721-2032 fax:092-739-3930